

まちの環境美化に貢献

市シルバー人材センター（山谷吉信理事長）の会員ら50人が、銀杏ヶ丘公園、松原公園、中央公園、縄文公園の清掃奉仕活動を行いました。これは、毎年10月のシルバー事業普及啓発促進月間に合わせて実施しているものです。

この日会員らは、ごみ袋とトングを持ち公園内を巡回。折れた木の枝や空き缶、ペットボトルなど落ちているごみを一つ一つ丁寧に拾い集め、遊具周辺やベンチの下など特に見落としがちな場所にも目を光らせていました。

活動を終え、同センターの田中淳二事務局長は「公園はみんなが使用する場所なので、きれいに利用してほしい」と話しました。



園内のごみを丁寧に拾い集める会員ら

10/16
銀杏ヶ丘公園

白老町と災害協定を締結

10/19
市役所



署名した協定書を手にする倉光市長と大塩町長

市は姉妹都市の白老町と「災害時相互応援に関する協定」を締結しました。

この協定は、近年の全国的な大規模災害の頻発を踏まえ、姉妹都市として交流を継続してきた両市町間において、災害時における相互支援を強化し、地域の安全と安心を高めることを目的としています。主な支援としては、災害応急復旧に必要な職員の派遣、避難や収容のために必要な物資等の提供、被災された児童生徒の受け入れなどがあります。

この日協定書に署名を終え、倉光市長は「つがるの後ろには白老、白老の後ろにはつがるがあるという思いで、いざという時にはすぐに駆け付けます」、大塩英男町長は「多種多様な応急活動が行えるため、大変心強く思っています」とそれぞれ話しました。

誇りと自信を持ち新たな一歩 柏小創立40周年記念式典

柏小学校（永原信哉校長）で、創立40周年記念式典が行われました。同小は、昭和59年に旧柏村の柏第一、第二、第三の3小学校を統合して設立。これまでに2,238人が学び舎を巣立ちました。

永原校長は「皆さんは40年間積み上げてきた柏小学校の歴史の最先端にいて、これからの未来をつくっていきます。柏っ子であることに誇りと自信を持って力強く歩んでほしい」と式辞を述べました。

倉光市長は「郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く子どもたちを育成する場として発展していくことを願います」とあいさつを述べました。



全校児童による校歌斉唱

10/26
柏小学校

防災をテーマにした習字作品展を開催

市消防本部では、秋の火災予防運動の一環として、防災をテーマにした習字作品を募集し、市内7つの小学校から計314点の作品が寄せられ、その中から優秀作品12点が選ばれました。これらの作品は火災予防の啓発として10月17日から10月24日までイオンモールつがる柏に展示されました。

■各賞受賞者（敬称略）

	1年「かじ」		2年「ひなん」	
特 賞	野呂 依央	向陽	一戸稀衣菜	向陽
消防長賞	増田 望莉	柏	高橋 うき	稲垣
	3年「ぼうか」		4年「安全」	
特 賞	伊藤 妃珠	柏	佐々木麗乃	車力
消防長賞	松橋 紗良	車力	山田いち花	柏
	5年「共助」		6年「住宅防火」	
特 賞	一戸実衣菜	向陽	加藤 葵	稲垣
消防長賞	平川愛佑菜	柏	中村 優心	柏

10/22
市消防本部



表彰式で賞状を手にする特賞受賞者



防災訓練実施 災害時の迅速な対応を確認

市では、車力中学校において岩木川浸水想定区域である下車力地区住民を対象とした防災訓練を行いました。

本訓練は、災害時において関係機関が連携し、迅速かつ的確に対応できる防災体制の確立と、自助・共助を基本とする避難行動を習得し、市民の防災意識を高めることを目的としています。

この日、災害警戒本部の設置をはじめ、住民避難や避難所運営、給水、炊き出しなど、多岐にわたる訓練が行われました。特に、段ボールベッドの組み立てや心肺蘇生（AED）といった避難生活の支援に必要なスキルを実践的に学ぶ貴重な体験となりました。

訓練を終えて地域住民からは「いざという時のために訓練ができてよかった」「災害がきても安心して避難できる」と話しました。

10/27
車力中学校



子どもたちも段ボールベッドの組み立てを体験



消防隊員と心肺蘇生（AED）を体験

皆さまの善意に感謝します

県西部郵便局長会つがる部会（部会長・宮下和人中里郵便局長）が、市民サービスに役立ててほしいと市にロビーチェア1脚を寄贈しました。

宮下部会長は「来庁された市民の皆さんに使っていただければうれしく思います」と話しました。

倉光市長は「市民サービスがいい環境で受けられるように活用したい」と感謝しました。

9/27
市役所


倉光市長に目録を手渡す宮下部会長

10/12
旧制木造中学校
講堂


絵画を寄贈した野呂さん（中）と市田さん（右）

明治安田生命保険相互会社青森支社が、地域住民の健康増進や介護・認知症対策、子育て支援などに役立ててほしいと市に75万4,500円の寄付金とサウンドアーチ（電話音声明瞭器）1台を寄贈しました。

日野研太支社長は「地域の皆さまが健やかでいられるよう幅広い分野でお役立ていただきたい」と話しました。

倉光市長は「市民の健康増進のために、有意義に使わせていただきます」と感謝しました。

11/1
市役所


倉光市長に目録を手渡す日野支社長

地域に根差した芸能が共演


11/9
松の館

躍動感あふれる獅子踊り

市内で継承される伝統芸能が一堂に会する「第20回つがる市伝統芸能保存フェスタ」が開催され、訪れた市民らは多様な民俗芸能の奥深さを堪能しました。

フェスタは、市登山囃子保存会による登山囃子で威勢よく開演。ホーハイ節保存会、弥三郎節保存会、木造甚句保存会、出野里獅子踊保存会が、それぞれの地域に根差した芸と技を披露したほか、節目である20回目を記念して、これら市内5団体のメンバーによるスコップ三味線演奏や踊りを披露し観衆を魅了しました。

また、今年は今別町の今別荒馬保存会が特別出演し、江戸時代から伝わる「今別荒馬」を披露。激しく暴れる馬を制御しようと付かず離れず距離を取る手綱取りの舞が観衆を楽しませました。

市納税貯蓄組合連合会が納税作品を表彰

11/16
イオンモール
つがる柏



表彰式に出席した受賞者の皆さん

市納税貯蓄組合連合会（佐々木富雄会長）は、夏休み期間中に市内の小中学校から納税作品として習字と作文を募集。応募作品160点の中から各賞を選考し、この日、表彰式が行われました。最高賞にあたる「つがる市長賞」には、習字の部で車力中学校3年生石澤咲花さん、作文の部で同中学校3年生永井悠河さんがそれぞれ選ばれました。全ての作品は、11月16日から2日間にわたり、イオンモールつがる柏に展示され、納税思想の高揚と普及に役立てられました。

このほかの入賞者は次のとおりです。（敬省略）**習字**▼教育長賞：木造中2年秋田谷帆香▼納税貯蓄組合連合会会長賞：柏中1年安田優葉▼金賞：稲垣小6年加藤葵、向陽小5年京谷春陽、柏小4年山田いち花、柏小3年山田晴喜、森田小2年丹代華穂、向陽小1年野呂依央▼銀賞：柏小6年中村優心、向陽小5年一戸実衣菜、柏小4年三上朝陽、向陽小3年鈴木緒莉、向陽小2年一戸稀衣菜、柏小1年増田望莉▼銅賞：柏小6年葛西羽菜、柏小5年平川愛佑菜、穂波小4年葛西穂乃花、車力小3年松橋紗良、稲垣小2年高橋うき、向陽小1年齊藤友彩
作文▼教育長賞：稲垣中2年加藤鈴琳▼納税貯蓄組合連合会会長賞：稲垣中2年秋元良仁▼金賞：稲垣中2年高橋涼真▼銀賞：稲垣中2年尾野桃星▼銅賞：柏中2年加藤夕馬

東北大会での健闘を誓う

10月12日から3日間開催された「第8回CBS少年軟式野球『6年生選抜』県予選会」に出場したつがる選抜が第3位の成績を収め、11月9日から開催される東北大会への切符を手に入れました。

この日、選手ら14人が市役所を訪れ、大会の結果や今後の抱負について話しました。

穂波小の小笠原怜皇主将は「東北大会では、関係する全ての方への感謝の気持ちと、全力プレーで全国への切符を勝ち取ります」と抱負を語りました。

倉光市長は「これまで支えてくれた人に感謝を込めて、精いっぱい頑張ってきてください」と激励しました。

つがる選抜は予選リーグを勝ち進み、決勝戦で鹿角DREAMS(秋田県)に5対6で惜しくも敗れ準優勝となりました。



健闘を誓うつがる選抜の選手たち

10/31
市役所

創業100周年 節目を祝う

11/20
神武食堂



イラストを眺めながら注文した品を待つ人たち

今年11月に創業100周年を迎えた神武食堂で、お店の歴史や裏話などをたくさん詰め込んだイラストやポスターを紹介する「スーパーラブ♡神武食堂展」を開催しました。

これは、青森市のイラストレーターである豊川茅さんが親交のある同食堂の節目を祝おうと発案したもので、豊川さんと八戸市のデザイナーの花田耕助さんでつくるイラスト・デザインユニット「つらいデザイン」が制作を担当。店内には他にも地元幼稚園などによる節目をお祝いする塗り絵なども掲示しており、店主の神祥仁さんは「100年の節目にたくさんの方からお祝い、協力をいただいて感謝しかない。楽しい企画になっているのでぜひ見てみてほしい」と話しました。

展示期間は年度末までを予定しています。